

郡山駅を起点に東北と首都圏をつなぐ 「はこビュン」による駅弁定期輸送を開始します

- 東日本旅客鉄道株式会社福島事業本部（以下、JR 東日本）と有限会社新杵屋（本社：山形県米沢市）は、列車荷物輸送サービス「はこビュン」を活用し、2026 年 10 月 19 日(月)から駅弁の定期輸送を開始します。
- 郡山駅始発の東北新幹線「なすの号」で新杵屋の駅弁を東京駅に輸送し、「駅弁屋 祭 グランスタ東京」、「駅弁屋 祭 セレクト 新幹線南乗換口」および「駅弁屋 踊 グランスタ東京」において販売します。
- 物流の要衝である郡山駅を活用することで、既存輸送と比較して東京駅店舗への納品時間を約 9 時間短縮します。東北エリアと首都圏エリアを結ぶ物流モデルとして、「はこビュン」の認知拡大と利用促進を図り、地域事業者の物流課題解決につなげます。

1 概 要

- (1) 開 始 日 2026 年 10 月 19 日(月) ～
- (2) 荷 主 有限会社 新杵屋
- (3) 実 施 日 毎日
- (4) 輸送列車 東北新幹線「なすの号」
- (5) 販売箇所 「駅弁屋 祭 グランスタ東京」、「駅弁屋 祭 セレクト 新幹線南乗換口」および「駅弁屋 踊 グランスタ東京」

2 輸送商品

- ・牛肉どまん中

山形県産米どまんなかをふっくらと炊き上げ、秘伝のタレで味付けした牛肉煮と牛そぼろ煮をのせた牛丼風の弁当です。



【牛肉どまん中】

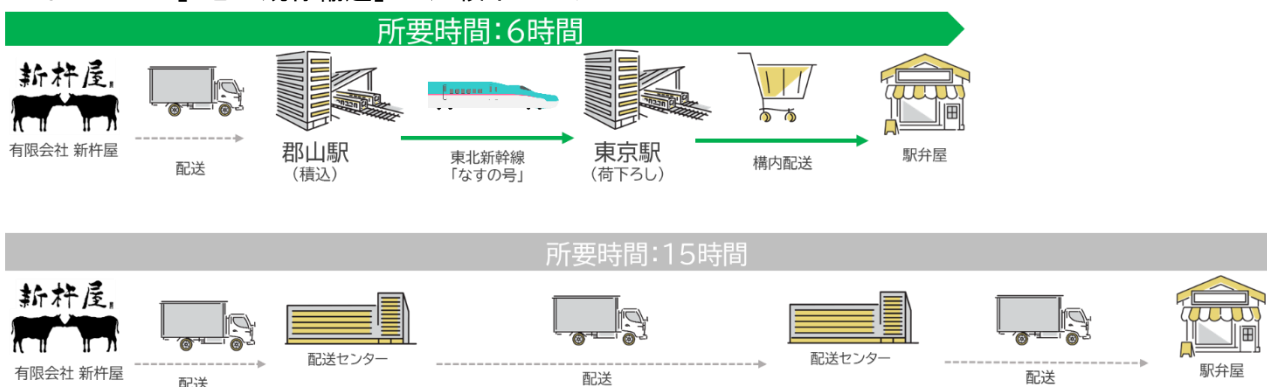
3 「はこビュン」導入による効果

- ・納品時間の短縮

郡山駅始発の東北新幹線「なすの号」と「はこビュン」を活用することで、東京駅店舗への納品時間を既存輸送と比較して約 9 時間短縮します。

【参考】

「はこビュン」と「既存輸送」の比較イメージ



4 輸送が実現したポイント

有限会社新杵屋が持つ既存配送ネットワークと、JR 東日本が持つ郡山駅始発「なすの号」および列車荷物輸送サービス「はこビュン」を組み合わせることで、物流の要衝である郡山駅を起点とした輸送スキームを構築し、東京駅店舗への納品時間を約 9 時間短縮する定期輸送を実現しました。

5 今後の展開

「はこビュン」を活用して東北エリアの魅力発信と持続可能な物流ネットワークの拡大に取り組んでいきます。



「はこビュン」の具体的なサービスは以下をご参照ください。

サイト [URL:https://www.jrbutsuryu.jregroup.ne.jp/business/hakobyun.html](https://www.jrbutsuryu.jregroup.ne.jp/business/hakobyun.html)

※ 掲載の画像は、全てイメージです。